

ハラスメント調査体制 整備状況チェックシート

2026 年版チェックシート

ハラスメント調査体制の整備状況について、貴社の現状を確認するためのチェックシートです。

チェック項目

No	チェック項目	YES	NO
1	ハラスメント疑義が発生した際、当事者と利害関係のない人員（人事担当者、必要に応じて社労士・弁護士等の外部専門家）で調査体制を組める仕組みがありますか？		
2	相談者・行為者・第三者への聴取について、個別に、同じ質問項目・同じ姿勢で行うルール（マニュアルやフォーマット）が用意されていますか？		
3	聴取の際、「いつ・どこで・誰が・何をしたか」という客観的事実と、感想・評価・伝聞を分けて記録する運用になっていますか？		
4	聴取内容を録音または詳細な記録として残す運用が徹底されていますか（記憶頼みの記録になっていませんか）？		
5	証言のみに頼らず、勤務記録・メールやチャットの履歴・入退室記録など客観的資料を収集する体制がありますか？		
6	相談内容・当事者名の共有を調査担当者の必要最小限に限定し、無関係な部署・同僚への漏洩を防ぐルールがありますか？		
7	聴取記録や証拠資料の施錠管理・アクセス制限、保存期間、廃棄ルールがあらかじめ定められていますか？		
8	「何が起こったか」の事実認定と、就業規則上の処分判断を別工程として扱う運用になっていますか？		
9	労働者から労災申請の希望があった場合、申請を妨げず、会社としての証明等に協力する一方、事実確認は中立的に行い、意見の相違があれば書面に記載する運用になっていますか？		
10	状況に応じて、労働者の同意を得たうえで産業医と連携し、休業・配置転換など安全配慮の観点からの対応を検討できる体制がありますか？		

貴社名		ご担当者名	
ご住所		E-mail	
TEL		ご要望を お書きください	
FAX			